

令和5年12月18日

尾道市長 平谷祐宏 様

尾道市総合戦略評価委員会
会 長 藤澤 毅

地方創生推進交付金事業及びデジタル田園都市
国家構想推進交付金事業の評価について

【評価結果】

尾道市が地方創生推進交付金及びデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、令和4年度に実施した3事業は、地方創生に対して有効であったと評価する。

・尾道市スマートシティエコシステム構築事業

(評価理由)

いずれの指標も目標値を超えており、様々な観点からの実証実験をとおして、ニーズの高低や課題を明確にすることができている。市民や企業が継続的にデジタル技術に触れる機会を創出しており、スマートシティの推進に繋がるものと考えられる。

(指摘事項)

実証実験の問題点を把握したうえで、長期的に実施して知見を蓄えてもらいたい。また、市民の方々に有用性が分かるよう、人流データの活用方法を再考してほしい。

・尾道市シティープロモーション推進事業（移住定住の促進・関係人口の拡大）

(評価理由)

全指標が目標値を大幅に上回っており、地方創生に直接つながる30代の若者や子連れ家族の移住に成果をあげている。これまでの取組の成果

が着実に表れ、浸透していることが伺える。

(指摘事項)

今後も引き続き、補助金を上手く活用して行ってほしい。また、移住が定住となるよう、地域住民からの課題や評価を広く集め、働く場や居住環境の整備などの施策を推進していくことにも期待したい。

・ ICT を活用した保護者とのコミュニケーションプラットフォーム運用事業

(評価理由)

保護者の負担軽減や利便性の向上に資するとともに、業務の効率化や教職員の負担軽減が図られており、非常に効果が高い取組であると言える。尾道市の子育て環境や教育に対する住民の満足度、評価の向上につながることを期待できる。

(指摘事項)

対応可能な端末を持っていない方や、デジタル機器の扱いに苦手意識を持つ方への対応が求められる。本システムが定着するよう、取組を継続し、発展させていくことを期待する。